

校章の由来

北海道小樽高等支援学校の校章

小樽市の市の鳥であるアオバトと、学校近くに映える桂の木から、ハートの形をした桂の葉を基調にイメージしました。

校訓の一つである「躍動」を大空に羽ばたくアオバトで表し、全体の形をあえて左右対称としないことで、個々の生徒がエネルギーに満ちあふれ、大きく飛躍する姿を表しました。さらに、アオバトの3枚の羽根は校訓の「感動」「協働」「躍動」を表しています。

桂の葉の3枚の重なりは、「家庭」「地域」「学校」の連携を表しています。KSは「高等」「支援」の頭文字です。

ライトブルーは海と「感動」を、ライトグリーンは大地と「協働」を表し、レッドはKS（「高等」「支援」）と「躍動」をさらに強調しています。



校歌

北海道小樽高等支援学校校歌

作詞 五十嵐 利 純裕
作曲 木村

一 海わたる風は 清しくて

心を映す 桂の葉

感動きらめく 学び舎に

若人の夢 響きわたる

二 地をわたる風は あたたか

春香に映える シラカンバ

協働ちかう 学び舎に

若人の力 ほとばしる

三 空わたる風は 生き生きと

大空を舞う アオバトが

躍動みなぎる 学び舎に

若人の希望 満ちあふれる

今 今 われら

輝く未来に 羽ばたこう

マスコットキャラクター

「ポッピー」、「ポポ太」、「ポッピーナ」について

■ポッピー

ポポ太、ポッピーナの兄
小樽高等支援学校が開校した平成21年度に、生徒が考案しました。「校歌にちなんで」→「制服を着たアオバト」→「未来に向かって大きく羽ばたく」をイメージして完成しました。



■ポポ太

ポッピーの弟
生徒のイラストをもとに、生徒会執行部でデザインを考えました。アオバトがモデルです。食いしん坊なのでスプーンをくわえています。ちょっといたずら好きな性格です。



■ポッピーナ

ポッピーとポポ太の妹
ポポ太と同様、生徒からのイラストをもとに、生徒会執行部でデザインを考えました。自然が大好きなやさしい性格で、ポニーテールとほほの渦巻きがチャームポイントです。



沿革

平成20年度

- 9月2日 北海道教育委員会から道立特別支援学校開校準備室の設置について記者発表。
- 10月1日 (仮称) 北海道道央地区高等支援学校開校準備事務室が手稲養護学校内に設置される。
- 10月14日 北海道立学校条例の一部を改正する条例公布(平成21年4月1日施行)
名称を北海道小樽高等支援学校とし位置は小樽市とする。
ただし、平成23年3月31日までの間は札幌市とする。
- 12月10日 仮校舎内部改修工事 着工(札幌市手稲区稲穂4条7丁目12-1)
- 3月6日 仮校舎内部改修工事 終了

平成21年度 (開校)

- 4月1日 木工科 環境・流通サポート科 福祉サービス科 生活技術科 生活家庭科 を開設
- 4月15日 第1回入学式 挙行(40名入学)
- 6月6日 開校式(北海道手稲養護学校体育館)
- 7月3日 第24回北海道高等養護学校体育大会 参加(札幌市円山競技場)

平成22年度

- 4月9日 第2回入学式 挙行(51名入学)
- 7月3日 第25回北海道高等養護学校体育大会 参加(札幌市円山競技場)
※この年をもち大会終了

平成23年度 (校舎移転)

- 4月1日 新校舎(小樽市銭函1丁目10-1)へ移転、寄宿舎「アオバト寮」を開設する。
- 4月15日 第3回入学式 挙行(51名入学)
- 10月29日 校舎落成記念式典
- 3月16日 第1回卒業証書授与式 挙行(40名卒業)

平成24年度

- 4月10日 第4回入学式 挙行(56名入学)
- 9月21日 第51回全日本特別支援教育研究連盟全国大会北海道大会
- 10月13日 第47回北海道特別支援教育振興大会・第37回北海道特別支援教育関係PTA研究大会、
～14日 第12回合同大会

平成25年度

- 4月9日 第5回入学式 挙行(59名入学)

平成26年度

- 4月1日 家庭科(1間口)を新設(27年度まで継続)
- 4月9日 第6回入学式 挙行(64名入学)

平成27年度

- 4月9日 第7回入学式 挙行(64名入学)

平成28年度

- 4月11日 第8回入学式 挙行(56名入学)

平成29年度

- 4月1日 生産技術科 木工科 環境・流通サポート科 家庭総合科 福祉サービス科 に学科を再編
- 4月11日 第9回入学式 挙行(56名入学)
- 7月27日 ユネスコスクール 認定
- 3月5日 後志管内教育実践表彰 受賞
- 3月31日 家庭科閉科

平成30年度 (開校10周年)

- 4月10日 第10回入学式 挙行(52名入学)
- 7月17日 開校10周年記念講演会
- 7月30日 第39回北海道特別支援教育研究協議会全道研究大会
- 9月8日 第53回北海道特別支援教育振興大会・第43回北海道特別支援教育関係PTA研究大会、
～9日 第18回合同大会(北海道胆振東部地震により中止)
- 12月7日 開校10周年記念式典・公開研究会
- 2月27日 北海道教育実践表彰 受賞

平成31年度／令和元年度

- 4月9日 第11回入学式 挙行(48名入学)
- 7月19日 ロケット教室
- 11月15日 アビリンピック全国大会 喫茶部門1名出場(銅賞入賞)
～17日
- 1月14日 文部科学大臣優秀教職員表彰 受賞(教職員一同)

令和2年度

- 4月9日 第12回入学式 挙行(56名入学)

令和3年度

- 4月9日 第13回入学式 挙行(54名入学)

令和4年度

- 4月11日 第14回入学式 挙行(36名入学)

令和5年度

- 4月11日 第15回入学式 挙行(56名入学)

令和5年度（2023年度）学校経営の基本方針		
令和5年度（2023年度）学 校 経 営 計 画		
基本理念（校訓）		
感 動	協 働	躍 動
すばらしいもの、美しいものを、常に新鮮な気持ちで、素直に力強く主体的に受け入れ、様々な人の思いに共感する豊かな感性と思いやりに満ちた、潤いのある学校でありたい	生徒の自立、社会参加を目指し、家庭、地域、関係機関など生徒にかかわるすべての人々と、各々の責任と行動において相互に主体的に連携し、共に歩み続ける学校でありたい	生徒を取り巻く環境を多面的、総合的に捉え、常に新たな発想で、生徒の輝く未来のために、創造的に生き生きと活動する学校でありたい
☐ 生徒の実態と教育環境 ☐ 生徒、保護者と教職員の願い ☐ 地域社会との連携・協働 ☐ 学校教育の今日的課題	学校教育目標 「豊かな心を持ち 力をあわせて 生き生きと活動する 生徒を育てる」	☐ 憲法及び教育基本法 の精神 ☐ 学校教育にかかわる法令等 ☐ 北海道教育のめざす姿 ☐ 後志管内教育推進計画
具 体 目 標		
一人一人の生徒が多くの「感動」「協働」を体験し、「躍動」することを通して、将来の社会自立に向けた「働く生活に必要な力」を養う		
☐ 生きて働く知識・技能を習得し、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を身につけ、学びを人生や社会に生かそうとする生徒を育てる		
☐ 社会的・職業的自立に向け、自己有用感・自己肯定感をもって、自分らしい生き方を展望し、実現する生徒を育てる		
目指す学校像		
特別支援教育を推進し、家庭・地域に信頼される学校		
☐ 生徒の自立と社会参加を目指す学校		
☐ 校内外の地域の特別支援教育を推進する学校		
☐ 専門性を高め合い、質の高い教育実践を行う学校		
目指す生徒像		
「働く生活に必要な力」を身に付け、自己有用感をもって自分の人生を生きる生徒		
☐ 自ら考え、自己選択・自己決定ができる生徒		
☐ 学習意欲・勤労意欲をしっかりと持つ生徒		
☐ 規則を守り、礼儀・作法を重んずる生徒		
☐ 自己と共に他者を尊重し、協力できる生徒		
☐ 自分の思いや考えを伝えることのできる生徒		
☐ 集団や社会の一員としての役割を自覚し、進んで社会に貢献する生徒		
目指す教職員像		
組織の一員としての自覚を持ち、職務を遂行できる教職員		
☐ 心豊かな人間性を育む教職員		
☐ 生徒理解に努め、生徒個々のよさと可能性を伸ばす教職員		
☐ 服務に厳正で、教育に熱意をもつ教職員		
☐ 自ら研修に励み、感動する心をもつ教職員		
☐ 誠実で人間性豊かな信頼される教職員		
☐ 公正で愛情と厳しさをもつ教職員		
☐ 教職のキャリア発達を継続する教職員		
教育方針		
1 キャリア・パスポートの理念を踏まえた「OKSライフキャリアプラン」を活用し、キャリアカウンセリング・キャリアガイダンスの充実に努める		
2 企業等との積極的な連携を図り、実践的学習及び現場実習等の体験的学習の充実に努める		
3 対話を通して、生徒・保護者の思いや生徒の個性を尊重した進路指導の充実に努める		
4 対話（コミュニケーション）能力の向上を促し、他者と協調的・社会的にかかわろうとする意欲や態度の育成に努める		
5 本人参加を前提として、学校や社会のきまりを守ることの意義と重要性について指導し、生徒の規範に対する認識と理解の向上に努める		
6 体力の向上や心身の健康の保持増進を促し、健康で安全な活力ある社会生活を営むための資質の向上及び道德教育の充実に努める		
7 社会生活に必要な生活習慣や豊かな人間性を育むため、対話で潤いのある寄宿舎生活の推進に努める		
8 生徒一人一人の特性（良さ）を尊重し、自己肯定感や自己有用感を高め、もてる力を伸ばす指導に努める		
9 学習指導要領に基づき、生徒一人一人に応じた個別の指導計画と両立した教育課程の編成・実施・評価に努める		
10 現在の学びの深化と、将来の自立や社会参加を見通したキャリア教育及び進路指導・支援の充実に努める		
11 インクルーシブ教育システム構築の視点での合理的配慮を明確にした個別的教育支援計画や個別の指導計画に基づき、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援に努める		
12 地域の人との関わり合いを大切にし、地域の教育力・資源等を活用した教育活動等の工夫に努める		
13 現在及び将来の生活につながる交流及び共同学習、地域との関わりある活動など、豊かな心や社会性等を育てる教育活動の工夫に努める		
14 生徒一人一人の成長や発達を促すため、保護者・医療・福祉等の関係機関との双互惠的連携に努める		
15 食育を含めた安全・安心な給食及び寄宿舎の食事の工夫に努める		
16 GIGA スクール構想に基づき、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの両立に努める		
17 社会状況に応じて遠隔オンラインと対面オフラインによるハイブリッドな授業づくりのために、日常的な ICT 機器利活用方法について教育実践を推進する。		
経営方針		
1 教職員の持ち味を生かした学校組織の構築に努める		
2 教職員相互による信頼と協力・協働により、チーム学校づくりに努める		
そのために、相互の対話(コミュニケーション)のためのスキルを身につける		
3 教職員一人一人が人権尊重の理念を十分に理解する		
4 社会の変化や生徒の実態、保護者や地域の願い等に応じた、教育課程の改善に努める		
5 「改訂生徒指導提要」に基づいた本校の生徒指導の在り方について再検討し、生徒指導にあたるように努める		
6 保護者及び地域等との連携・交流を積極的に進め、コミュニティ・スクールとして、地域のコミュニティの核となるように努める		
7 危機管理の徹底を図り、安全で安心感のある学校経営に努める		
8 社会の動きに対応した創造的・組織的な校務遂行に努める		
9 地域や保護者をはじめ社会に開かれた学校づくりの推進に努める		
10 地域性や生徒の実態、職員構成等を生かした学校づくりに努める		
11 職員の法令遵守及び組織的な危機管理に努める		
12 職員の資質及び専門性の向上のための研究・修養の充実に努める		
13 学校評価をはじめ、客観的な経営評価の充実に努める		
14 インクルーシブ教育システム構築の視点での基礎的な環境整備の観点から、安全・安心かつ快適な校舎内外の環境整備に努める		
15 計画的、適切な予算執行及びきめ細やかな説明と接遇に努める		
今年度の重点目標：「自立」と「貢献」から始まる新たな OKS ～自分の思いをしっかりと伝える、相手の思いを感じる、みんなでつなぐ～		
教 務	舎 務	事 務
伝える〈教育〉 学習指導要領を踏まえて、生徒と教師、生徒同士の対話による「OKS 授業フォーム(型)」を通して、社会の構成員としての資質と能力を育む	伝える〈教育〉 生涯学習の理念を踏まえて、寄宿舎生と指導員、寄宿舎生同士の対話による豊かな生活づくりを通して、社会の構成員としての資質と能力を育む	伝える〈教育〉 学校の学習指導・生徒指導・進路指導、寄宿舎の生活指導等々の教育・支援活動が、円滑に展開されるように事務業務を推進する
感じる〈文化〉 キャッチフレーズを通して、生徒・教師・保護者・地域との対話を続け、チーム力を発揮する学校をつくる	感じる〈文化〉 キャッチフレーズを通して、寄宿舎生・指導員・保護者・地域との対話を続け、チーム力を発揮する寄宿舎をつくる	感じる〈文化〉 キャッチフレーズを通して、職員間の対話を積極的に続け、チーム力を発揮する事務室をつくる
つなぐ〈経営〉 生徒の質の高い学校生活のために、コミュニティ・スクールでの運営委員と学校職員の対話を通して、効果的な学習環境を創造する	つなぐ〈経営〉 寄宿舎生の質の高い寄宿舎生活のために、コミュニティ・スクールでの運営委員と学校職員の対話を通して、効果的な生活環境を創造する	つなぐ〈経営〉 コミュニティ・スクールとして、地域と対話し学習環境が創造できるように、効果的・効率的な事務業務を推進する
今年度の重点目標を達成するための組織づくりを目指して『 つなぐ 』		
各学科、学年、分掌、寄宿舎、事務等において、当該部署の目的・役割を検討した上で、年度の重点目標を踏まえた実現可能な「下位目標」を設定し、「共通の目標のために、誰が何をやろうとしているか、誰もがわかる」ようにする		
【組織づくりの三原則】		
① 職員による目標の共有化 ② 組織の構成員としての貢献（協働）意欲の高まり ③ 情報が共有され、コミュニケーションの活発化		
研 究 主 題		
「時代と社会の変化に敏感に対応できる力を高める実践的研究」（3 か年研究・2 年次）		

学 科 編 制

	1 学年			2 学年			3 学年			合 計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
生産技術科	6	2	8	4	1	5	2	6	8	12	9	21
木工科	4	4	8	8	0	8	8	0	8	20	4	24
環境・流通科	8	8	16	6	1	7	11	3	14	25	12	37
家庭総合科	5	3	8	4	4	8	1	5	6	10	12	22
福祉サービス科	6	10	16	4	3	7	8	7	15	18	20	38
計	29	27	56	26	9	35	30	21	51	85	57	142
(通学生)	(9)	(8)	(17)	(9)	(2)	(11)	(12)	(8)	(20)	(30)	(18)	(48)
(舎生)	(20)	(19)	(39)	(17)	(7)	(24)	(18)	(13)	(31)	(55)	(39)	(94)

居住地別生徒数

		後志支庁												札幌市								石狩支庁					その他		合計						
		小樽市	余市町	仁木町	岩内町	倶知安町	二世谷町	京極町	積丹町	黒松町	蘭越町	留寿都村	島牧村	泊村	中央区	北区	白石区	厚別区	清田区	豊平区	南区	西区	手稲区	江別市	千歳市	恵庭市	石狩市	北広島市	当別町	新篠津村	空知支庁	胆振支庁	他の支庁		
1 学年	小 計	6	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	2	1	1	0	3	2	4	4	4	4	0	2	4	0	0	1	8	1	56
	区域別合計	10												22								14					10								
2 学年	小 計	7	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	2	1	4	2	2	0	0	0	0	0	1	5	0	35
	区域別合計	12												13								4					6								
3 学年	小 計	11	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	2	1	1	1	0	7	2	3	2	1	0	0	0	0	6	1	51	
	区域別合計	17												19								8					7								

卒業生の進路状況

卒業後の進路

(各期生卒業段階)

		一般就労		福祉的就労				進学	自宅 (家事)	合計	就労率
		一般就労	継続 A 型	就労 移行	継続 B 型	生活 介護	自立 訓練				
9 期生	男 子	24	6	4	2	0	1	0	0	37	■一般就労 81.1% ■福祉的就労 17.0%
	女 子	12	1	1	1	0	0	1	0	16	
	計	36	7	5	3	0	1	1	0	53	
10 期生	男 子	14	3	3	6	1	0	2	0	29	■一般就労 59.6% ■福祉的就労 34.0%
	女 子	9	2	3	3	0	0	0	1	18	
	計	23	5	6	9	1	0	2	1	47	
11 期生	男 子	18	1	2	2	0	0	1	1	25	■一般就労 75.6% ■福祉的就労 19.5%
	女 子	5	7	3	1	0	0	0	0	16	
	計	23	8	5	3	0	0	1	1	41	
12 期生	男 子	18	4	3	4	0	0	1	0	30	■一般就労 68.6% ■福祉的就労 29.4%
	女 子	8	5	2	6	0	0	0	0	21	
	計	26	9	5	10	0	0	1	0	51	

一般就労の職種内訳

職 種	スーパー・小売り	医療福祉	流 通	食品製造	清 掃	厨 房	飲食サービス	その他
9 期生	6	10	5	6	2	4	7	3
10 期生	6	5	6	2	1	3	2	3
11 期生	6	4	8	3	0	3	1	6
12 期生	2	6	6	4	3	0	7	7

教育課程

年間授業時数

	1 学年		2 学年		3 学年	
	週授業時数	年間授業時数	週授業時数	年間授業時数	週授業時数	年間授業時数
専門教科	7	245	11	385	11	385
国 語	2	70	2	70	2	70
社 会	1	35	1	35	1	35
数 学	2	70	2	70	2	70
理 科	1	35				
音 楽	1	35	1	35		
美 術	2	70	1	35		
保健体育	4	140	3	105	3	105
職 業	1	35	1	35	1	35
家 庭	1	35	1	35	1	35
外国語	1	35	1	35	1	35
情 報	1	35				
道 徳	1	35	1	35	1	35
選択教科					2	35
総合的な探究の時間	1	35	1	35	1	35
特別活動	4.3	150.5	4.3	150.5	4.3	150.5
自立活動	1	35	1	35	1	35
合 計	31.3	1095.5	31.3	1095.5	31.3	1095.5

再掲

(指導形態)	1 学年		2 学年		3 学年	
	週授業時数	年間授業時数	週授業時数	年間授業時数	週授業時数	年間授業時数
作業学習	8.5	297.5	12.5	437.5	13	455
国 語	2	70	2	70	2	70
社 会	1	35	1	35	1	35
数 学	2	70	2	70	2	70
理 科	1	35				
音 楽	1	35	1	35		
美 術	2	70	1	35		
保健体育	4	140	3	105	3	105
職 業	1	35	1	35	1	35
家 庭	1	35	1	35	1	35
外国語	1	35	1	35	1	35
情 報	1	35				
道 徳	0.5	17.5	0.5	17.5		
選択教科					2	35
総合的な探究の時間	1	35	1	35	1	35
特別活動	4.3	150.5	4.3	150.5	4.3	150.5
合 計	31.3	1095.5	31.3	1095.5	31.3	1095.5

週時程表

曜日	学年	学科	登校	SHR	1	2	3	4	昼食・休憩	5	6	SHR	下校				
			8:40 8:55	(5)	9:00 9:50	(5)	9:55 10:45	(5)	10:50 11:40	(5)	11:45 12:35	12:35 13:25	13:25 14:15	(5)	14:20 15:10	15:10 15:30	
月	1年 (7学級)	生産技術	SHR		国語	数学	情報	家庭	昼食 休憩	作業学習 進路学習	作業学習 進路学習	SHR	15:30				
		木工			国語	数学	職業	外国語						美術			
		環境A			数学	国語	外国語	美術									
		環境B			情報	家庭	数学	音楽									
		家庭総合			職業	外国語	数学										
		福祉A			外国語	職業	数学										
	2年 (5学級)	家庭総合	SHR	8:40	作業学習	作業学習	作業学習	作業学習	昼食 休憩	保健体育	保健体育	SHR					
		生産技術						職業					社会				
		木工						社会					職業				
3年 (7学級)	生産技術	SHR		国語	数学	外国語	社会	昼食 休憩	選択教科	選択教科	SHR						
	環境B			数学	国語	家庭	職業										
	福祉A			数学	国語	職業	家庭										
	木工			外国語	社会	保健体育	保健体育										
	環境A			社会	外国語	保健体育											
	家庭総合			家庭	職業	家庭											
福祉B	職業	家庭	家庭														
火	1年 (7学級)	生産技術	SHR		作業学習 *道徳	作業学習	作業学習	作業学習	昼食 休憩	保健体育	保健体育	SHR	15:30				
		木工								外国語 社会 職業 国語 国語	職業 社会 社会 数学 数学			国語 数学 数学 保健体育	数学 国語 国語 保健体育	美術 職業 理科 社会 数学 家庭 情報	
		環境A															
		環境B															
		家庭総合															
		福祉A															
	2年 (5学級)	家庭総合	SHR	8:40	外国語	家庭	国語	数学	昼食 休憩	外国語	社会	SHR					
		生産技術			社会	職業	数学	国語		家庭	家庭						
		木工			職業	社会	数学	国語		美術	音楽						
3年 (7学級)	生産技術	SHR		作業学習	作業学習	作業学習	作業学習	昼食 休憩	作業学習 進路学習	作業学習 進路学習	SHR						
	環境B																
	福祉A																
	木工																
	環境A																
	家庭総合																
福祉B																	
水	1年 (7学級)	生産技術	SHR		保健体育	国語 国語 数学 理科 社会 美術	音楽	数学 数学 国語 音楽 理科	昼食 休憩	美術	美術	SHR	15:30				
		木工								国語 国語 情報 家庭							
		環境A															
		環境B															
		家庭総合															
		福祉A															
	2年 (5学級)	家庭総合	SHR	8:40	作業学習	作業学習	作業学習	作業学習	昼食 休憩	作業学習 進路学習	作業学習 進路学習	SHR					
		生産技術															
		木工															
3年 (7学級)	生産技術	SHR		作業学習	作業学習	作業学習	作業学習	昼食 休憩	保健体育	保健体育	SHR						
	環境B																
	福祉A																
	木工																
	環境A																
	家庭総合																
福祉B																	
木	1年 (7学級)	生産技術	SHR		作業学習	作業学習	作業学習	作業学習	昼食 休憩	保健体育	SHR	14:30					
		木工															
		環境A															
		環境B															
		家庭総合															
		福祉A															
	2年 (5学級)	家庭総合	SHR	8:40	作業学習 *道徳	作業学習	作業学習	作業学習	昼食 休憩	音楽	SHR						
		生産技術						数学		14:30							
		木工						数学									
3年 (7学級)	生産技術	SHR		保健体育	国語 数学 数学 家庭 職業 外国語 社会	数学 国語 国語 家庭 家庭 社会 外国語	家庭 外国語 社会 国語 国語 数学 数学	昼食 休憩	職業	SHR	14:15 14:30						
	環境B																
	福祉A																
	木工																
	環境A																
	家庭総合																
福祉B																	
金	1年 (7学級)	生産技術	SHR		社会 情報 家庭 数学 国語 国語	理科 家庭 情報 国語 国語 数学	職業 社会 理科	外国語 理科 社会	昼食 休憩	LHR	SHR	14:15 ~ 14:30	14:30				
		木工															
		環境A															
		環境B															
		家庭総合															
		福祉A															
	2年 (5学級)	家庭総合	SHR	8:40	保健体育	美術	国語 数学 数学 家庭 外国語	数学 国語 国語 外国語 家庭	昼食 休憩	LHR	SHR						
		生産技術															
		木工															
3年 (7学級)	生産技術	SHR		作業学習	作業学習	作業学習	作業学習	昼食 休憩	LHR	SHR							
	環境B																
	福祉A																
	木工																
	環境A																
	家庭総合																
福祉B																	

年間行事予定

(年度当初の予定)

月	行 事 名	月	行 事 名
4	着任式・第1学期始業式、入学式、身体測定、各種健康診断、新入生歓迎会、1・3学年進路懇談会①、2学年懇談会①、PTA総会	10	アビリンピック北海道大会、全学年保護者懇談週間、避難訓練③、1・3学年進路懇談会③、マラソン大会
5	各種健康診断、避難訓練①、3学年見学旅行、2・3学年保護者懇談週間、2学年進路懇談会①、学校運営協議会①	11	学校祭、2学年進路懇談会③、PTA施設見学会②、学校運営協議会②
6	生徒総会、1学年保護者懇談週間、開校記念日、2・3学年Ⅰ期現場実習、進学説明会、1学年宿泊研修、PTA施設見学会①、学校見学会	12	生徒会役員選挙、第2学期終業式、PTA学習会②
7	芸術鑑賞会、1学年進路懇談会②、スポーツレクリエーション、1学年家庭訪問、PTA学習会①、1学年宿泊研修、第1学期終業式	1	校内研修会、校内研究交流会、第3学期始業式、生徒会役員認証式、避難訓練④、2学年Ⅲ期現場実習
8	校内研修会、第2学期始業式、3学年進路懇談会②、避難訓練②	2	3学年Ⅲ期現場実習、全学年保護者懇談週間、学科製品販売会、1・3学年進路懇談会④、学校見学会、学校運営協議会③
9	2学年進路懇談会②、2・3学年Ⅱ期現場実習、1学年現場実習	3	同窓会入会式、卒業生を送る会、卒業証書授与式、修了式・離任式

寄 宿 舎

日課表

日曜日		月曜日 ～ 水曜日		木曜日		金曜日	
6:30		起床（寝具の整理整頓・洗面・着替え）					
7:10		配膳					
7:30		朝食					
8:00		登校準備・食堂掃除					
8:30		登校					
14:00	帰 舎	学校の生活				下 校 （ 帰 省 ）	
14:30							
15:30		下 校					
		入 浴（月曜・水曜）、シャワー浴（火曜・木曜） 洗濯、掃除、買い物、外出 など					
17:40		配膳					
18:00	夕食						
18:30	歯磨き、区域清掃						
19:00	学習時間、自由時間（週の始めには集会）						
20:00	（各棟に戻る）						
20:30	就寝準備						
21:30	消 灯、就 寝						

年間行事予定

月	行 事 名	月	行 事 名
4	新入舎生オリエンテーション、新入舎生歓迎会 避難訓練オリエンテーション 単独帰舎帰省オリエンテーション	10	避難訓練③、棟外食会
5	避難訓練①、舎友会総会	12	クリスマス会、学期末大掃除
7	避難訓練②、棟外食会、学期末大掃除	2	避難訓練④、送別会
		3	舎友会総会、学期末大掃除



寄宿舎外観



舎室 (二人部屋)



ラウンジ

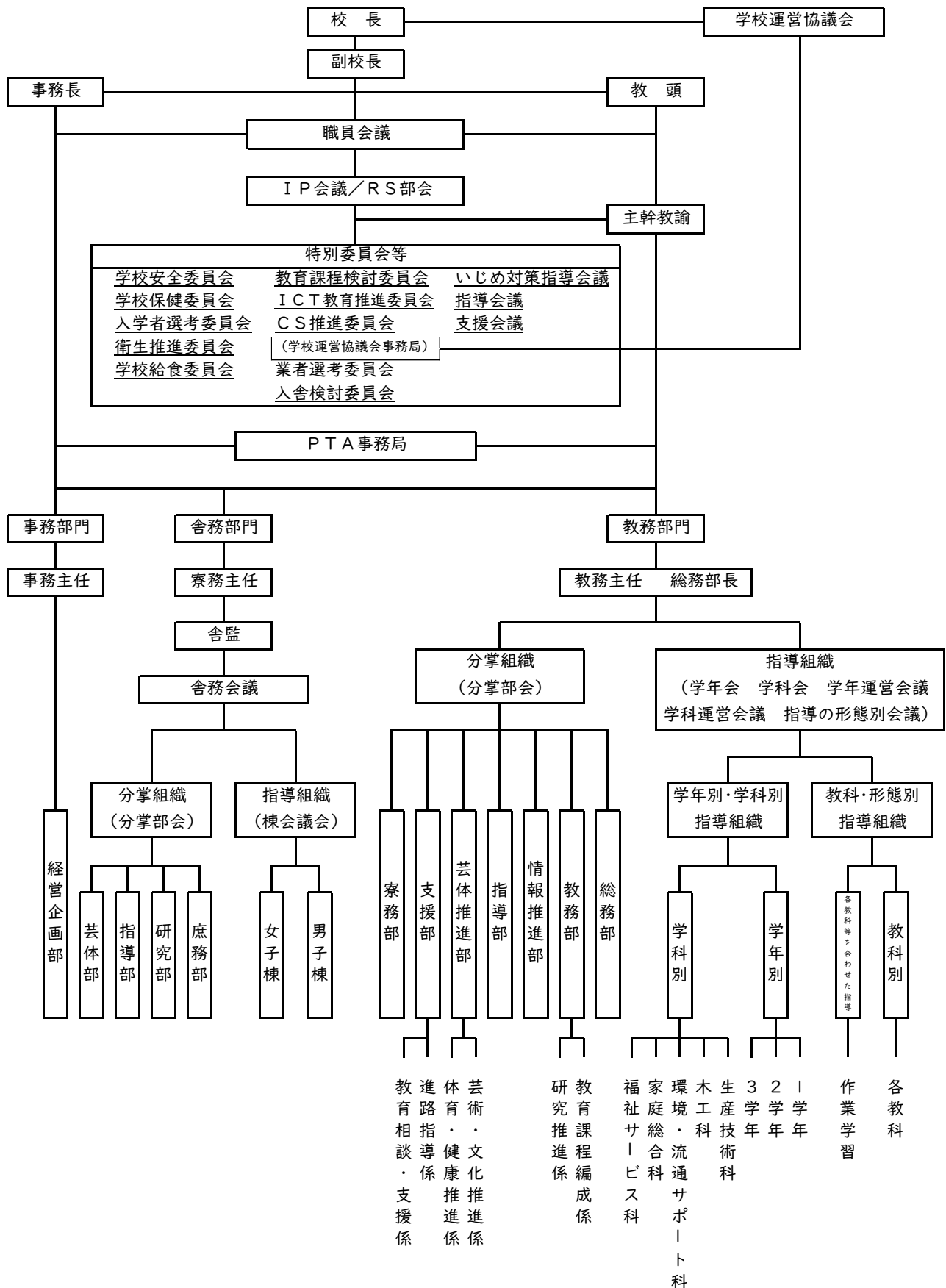


食 堂



浴 室

学校運営組織図



教育相談

- 教育相談** 特別な教育的支援を必要とする子どもの教育相談
お子さんの育ちや学びについて、お悩みのことがありましたらご相談ください。

電話：0134-61-3400

FAX：0134-61-3430

●**入学に関する教育相談**

本校及び高等支援学校（高等養護学校）へ進学を希望される方の教育相談を行っています。
在籍する学校を通して申込みください。
詳しくは、本校のホームページをご覧ください。

北海道小樽高等支援学校ホームページ

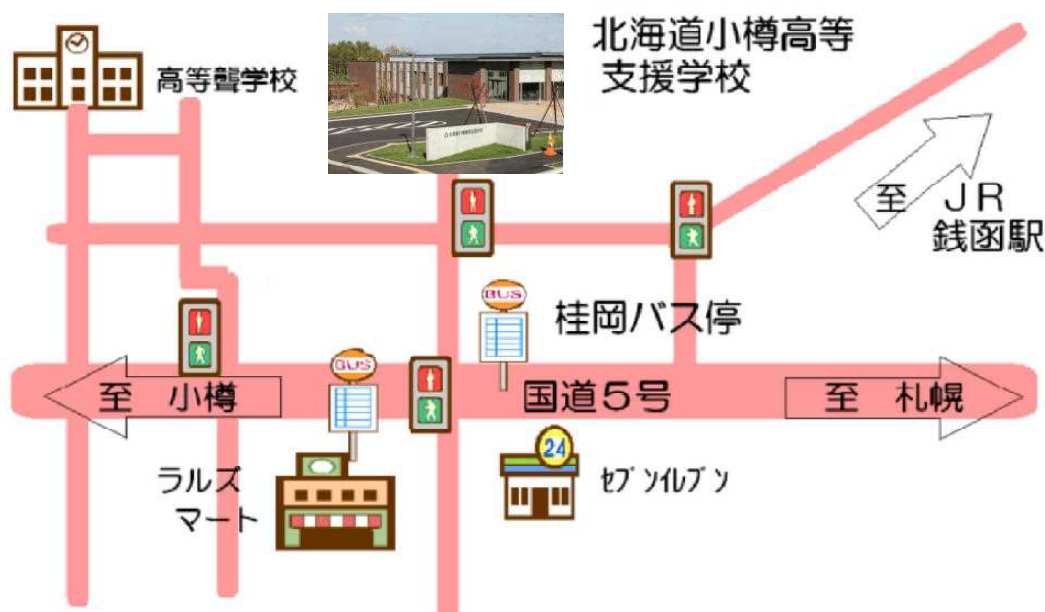
<http://www.otarukoushi.hokkaido-c.ed.jp/>

●**道内の特別支援教育ネットワーク**

各地域では、特別支援教育に関するネットワークを形成し連携した相談を行っています。また、特別支援学校におけるパートナー・ティーチャー派遣事業も実施しておりますので、お問い合わせください。詳しいネットワークの情報は、下記のアドレスに掲載されています。

北海道立特別支援教育センターホームページ <http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/>

案内図



<小樽方面から>

J R：JR 銭函駅下車→徒歩20分

J Rバス：小樽駅(1番乗り場) 【宮65】地下鉄宮の沢駅前行き →バス停「桂岡」下車→徒歩6分
(*乗車時間約30分)

<札幌方面から>

J R：JR 銭函駅下車→徒歩20分

J Rバス：地下鉄宮の沢駅(5番乗り場) 【宮65】小樽駅行き →バス停「桂岡」下車→徒歩6分
(*乗車時間約40分)

手稲駅南口(1番乗り場)
(*乗車時間約20分)

【手65】小樽駅行き →バス停「桂岡」下車→徒歩6分